

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-189740

(P2001-189740A)

(43)公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51)Int.Cl'

H04L 12/46
12/28

識別記号

F 1

H04L 11/00

テレホード (参考)
310C

審査請求 未請求 求査項の数5 OL (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平11-375036

(22)出願日 平成11年12月28日 (1999.12.28)

(71)出願人 0000030373

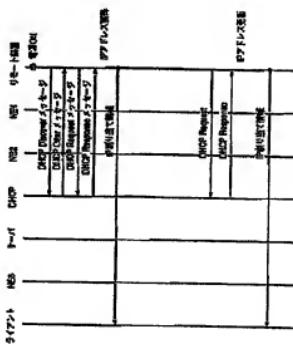
株式会社東芝
神奈川県川崎市幸区瀬川町72番地(72)発明者 麻村 伸一郎
東京都港区芝浦一丁目1番1号 株式会社
東芝本社技術研究所内(74)代理人 100058479
弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

(54)【発明の名前】 リモート装置及び同装置を備えた通信システム

(57)【要約】

【課題】リモート装置をインターネット網やCATV網等の画像ネットワークを利用して複数地から制御するのに必要な、当該リモート装置に動的に割り当てられるIPアドレスを、遠隔地から確実に把握できるようにする。

【解決手段】インターネット網にネットワーク装置NE1、NE2を介して接続されるリモート装置は、ネットワーク装置NE2を介して接続されているDHCPサーバにより割り当たされるIPアドレスの獲得年と当該IPアドレスの使用期間が切れた段階の当該IPアドレスの更新毎に、当該IPアドレスを含む割り当て情報を作成して、所定の宛先、例えばパソコンやコンピュータ等のネットワーク機器を持つか clientIdに送信する。クライアントは、リモート装置から送られた割り当て情報に基づいて当該リモート装置のIPアドレスを認識し、このIPアドレスを用いた通信により当該リモート装置を遠隔地から制御する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット網にネットワーク装置を介して接続され、前記ネットワーク装置を介して接続される特定のサーバにより割り当てられるインターネットプロトコルアドレスを利用して通信を行うリモート装置において、

前記特定サーバから割り当てられたインターネットプロトコルアドレスを獲得するインターネットプロトコルアドレス獲得手段と、

前記特定サーバから割り当てられたインターネットプロトコルアドレスを含む割り当て情報を生成し、当該割り

当て情報を所定の先に送信する割り当て情報生成・送信手段とを具備することを特徴とするリモート装置。

【請求項2】 前記割り当て情報生成・送信手段は、電子メール形式の割り当て情報を生成する電子メール形式

割り当て情報を生成手段を有することを特徴とする請求項1記載のリモート装置。

【請求項3】 インターネット網にネットワーク装置を介して接続される複数のリモート装置と、前記各リモート装置にインターネットプロトコルアドレスを割り当てる特定のサーバーとを組成するシステムにおいて、

前記リモート装置は、前記特定サーバから割り当てられたインターネットプロトコルアドレスを獲得するインターネットプロトコルアドレス獲得手段を備え、

前記ネットワーク装置は、前記特定サーバから所記リモート装置に割り当てられたインターネットプロトコルアドレスを検出し、当該リモート装置に割り当てるインターネット

プロトコルアドレスを含む割り当て情報を生成し、当該割り当て情報を所定の先に送信する割り当て情報生成・送信手段を備えていることを特徴とする通信システム。

【請求項4】 サーバと各クライアントとが第1のネットワークを介してデータを送受信し、サーバに各リモート装置とが第2のネットワークを介してデータを送受信する通信システムにおいて、

前記リモート装置は、当該リモート装置に割り当てられたインターネットプロトコルアドレスを含む割り当て情報を作成し、当該割り当て情報を所定の先に送信する割り当て情報生成・送信手段を備え。

前記サーバは、前記第2のネットワークを介して前記リモート装置の前記割り当て情報を生成・送信手段から送信された当該リモート装置の前記割り当て情報を受信する割り当て情報受信手段と、前記割り当て情報受信手段により受信された前記リモート装置の割り当て情報を対応する前記クライアントに送信する割り当て情報送信手段とを備えていることを特徴とする通信システム。

【請求項5】 前記割り当て情報を生成・送信手段は、電子メール形式の割り当て情報を生成する電子メール形式

割り当て情報を生成手段を有していることを特徴とする請求項4または請求項4記載の通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、家庭等のローカルネットワークに接続される端末や周辺装置に代表される装置(リモート装置)をインターネット網やCATV網等の通信ネットワークを利用して通信場所から制御するのに用いられるリモートモジュール及び回路装置を備えた通信システムに関するものである。

【0002】

【既存の技術】 近年、家庭のユーザに対してインターネット接続サービスを実現するシステムとして、CATV網を利用したケーブルシステムが注目されている。このケーブルシステムは、加入者のパーソナルコンピュータをケーブルモジュムに接続し、CATV網の空き帯域をもって双方向通信を行うもので、ヘッドエンドを介してインターネットや各種オンラインサービスにアクセスすることができる装置である。10BASE-Tのパワリピータ装置を用いて家庭内に複数のパーソナルコンピュータをケーブルモジュムに接続して複数のユーザが同時にインターネット接続を可能である。又、USB

インターフェースを持ったケーブルモジュムを使えば、パーソナルコンピュータだけでなくデジタルビデオ装置等の周辺装置もインターネット網に接続できるようになる。このケーブルシステムは一般料金体系が月額契約制であるため、複数のパーソナルコンピュータや周辺装置を家庭インターネット網に接続しても料金は変わらないというメリットがある。

【0003】一方、インターネットの普及と情報化の進展に伴い、会社や学校は勿論、外出先からも接続装置等を介して電子メールを送ったり、WWW(World Wide Web)で情報検索をしたり、WWWのホームページにアクセスして、ホテルの予約やオンラインショッピングを行うといったことも、盛んになれるようになってきている。

【0004】このような背景の下、会社や学校、あるいは外出先からインターネット網を経由して家庭内にあるネットワーク機器や周辺装置、ネットワーク機能を持った家庭装置(に代表されるリモート装置)にアクセスし、これらの機器や装置を遠隔で制御したいという要求が高まっている。

【0005】従来、ネットワーク機器を遠隔地から制御する代表的な手段として、SNMP(Simple Network Management Protocol)やTelnetのプロトコルが知られている。SNMPはネットワーク機器に対しUDP(User Datagram Protocol)／IP(Internet Protocol)を使ってアクセスし、ネットワーク機器が提供する管理情報(MIB)の値を読み書きするプロトコルである。一方、Telnetは、TCP(Transmission Control Protocol)／IPを使って、あるクライアント

アント)から遠隔地のマシン(サーバ)へ、キーボード

(3) 特開2001-189740

4

のストロークを渡すためのプロトコルである。

【0005】上述のどちらのプロトコルも相手先のIPアドレス(インターネットプロトコルアドレス)またはIPアドレスに対応付けられたホスト名を指定してIPプロトコルを使ってデータの送受信を行うものである。このため、相手先のIPアドレスが分からなければデータを送ることはできない。

【0007】ところで、家庭内にあるネットワーク機器や周辺装置、ネットワーク機能をもった家庭装置、つまりリモート装置がケーブルシステムを介してインターネット等に接続されている場合、会社や学校、外出先からいかにして自宅にある上記リモート装置のIPアドレスを知るかが問題になる。

【0008】図6にケーブルシステムの構成図を示す。同図に示すように、ネットエンドあるいは拠点番号600には、インターネット端末10や各種オンラインサービスに接続するためのゲートウェイ/ファイアウォール601、IPアドレスを割り当てるDHCPサーバ(dynamictext Configuration Protocol)サーバ602、加入者見てのメールをスブルするメールサーバ603、CATV専用端末や加入者のホームページを提供するWebサーバ604、及びCATV接続装置(CATVヘッドエンダ)605等が設置される。

【0009】ここで、ケーブルモジュム620および加入者のペーサルコンピュータ(PC)630のIPアドレスは初期段階入後、DHCPサーバ602によって割り当てる。

【0010】一般にCATV事業者が提供できるIPアドレスは有限である。そのため、DHCPサーバ602のIPアドレスの貸し出し(リース)期間を1日～数日程度に設定し、長期間ケーブルモジュム620やペーサルコンピュータ630が電源OFFになった場合には、DHCPサーバ602はIPアドレスの割り当てを自動的に解放し、場合によっては、このIPアドレスを別のユーザ(ケーブルモジュムやペーサルコンピュータ)に割り当てられるようになっている。このようにDHCPサーバ602によって割り当られるIPアドレスは常に一定とは限らない。

【0011】また、DHCPサーバ602は、ケーブルシステム供給者が管理し、のホスト(ケーブルモジュム、ペーサルコンピュータ)にどのIPアドレスを割り当たかは、セキュリティの観点から一般に公にされない。また、仮に、加入者が外出する前に家庭内のペーサルコンピュータに与えられたIPアドレスを調べていたとしても、その時点以後、外出先から自分の家庭内にある(リモート装置としての)ペーサルコンピュータや周辺装置を遠隔で制御しようとするまでに、そのIPアドレスが変化していれば制御できなくなる。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】上記説明したように從

来は、ケーブルシステムのように、家庭等のローカルなネットワークに接続されるネットワーク機器や周辺装置、あるいはネットワーク機能を持った家庭装置に代謝されるリモート装置にIPアドレスを動的に割り当てる場合、会社や学校、外出先からでは、そのIPアドレスを知るための方法がないという問題があった。このため、会社や学校、外出先からネットワークを利用して所轄のリモート装置を制御することは困難であった。

【0013】本発明は上記事項を考慮してなされたものでその目的は、家庭等のローカルなネットワークに接続される端末や周辺装置に代謝されるリモート装置をインターネット切替装置(CATV端末等の通信ネットワーク)を利用して遠隔地から制御するに必要な、当該リモート装置に動的に割り当られるIPアドレスを、遠隔地から遠隔で割り当てることができる、リモート装置及び回線を備えた通信システムを提供することにある。

【0014】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明のリモート装置は、インターネット網にネットワーク機能を介して接続され、上記ネットワーク機能を介して接続される専用のサーバにより割り当られるIPアドレスを利用して通信を行いうリモート装置であって、上記専用サーバから割り当られたIPアドレスを獲得するIPアドレス専用手段と、上記専用サーバから割り当られたIPアドレスを含む割り当て情報を生成し、当該割り当て情報を所定の先に送信する割り当て情報生成・送信手段とを備えることを特徴とする。ここで上記リモート装置には、上記専用サーバからIPアドレスを獲得する他に、IPアドレスを更新または解放する機能を持つこととよ。

【0015】このような構成のリモート装置においては、自身が専用サーバ(DHCPサーバ)から獲得したIPアドレスを含む割り当て情報を、例えば当該IPアドレスの番号(更には更には更新)等に所定の宛先へ送信することができることから、上記所定の宛先に送信された割り当て情報を会社や学校、外出先等の遠隔地から(ネットワーク機器により)取得して当該割り当て情報を中のIPアドレスを把握することが可能となる。これにより、上記把握されたIPアドレスに従い、SNMPやTelnet等のプロトコルを利用して、インターネット網を経由して遠隔地から上記リモート装置を制御することが可能となる。ここで、上記専用の宛先を、会社や学校等にあらわすものと定められ、(例えば対応するリモート装置に固有の)クライアント(クライアント機器)とすることも可能である。

【0016】また本発明は、上記ネットワーク装置に、以下の割り当て情報を生成・送信手段、即ち上記専用サーバからリモート装置に割り当られるインターネットプロトコルアドレスを検出して、当該リモート装置の代わりに、当該リモート装置に割り当てるIPアドレスの割り

特開2001-169740

6

(4)

5

5
当て情報を生成し、当該割り当て情報を上記所定の宛先に送信する割り当て情報生成・送信手段を持たせててもよい。ここでネットワーク装置にはローカルエリアネットワーク（LAN）と接続するためのブリッジ、もしくはルータ、またはCATV網の终端装置（ヘッドエンジン装置）が通用可能である。

【0017】このようなネットワーク装置を備えたことにより、リモート装置が特定サーバから獲得したIPアドレスを含む割り当て情報を、例えは当該IPアドレスの獲得毎（定期に更新毎）に、ネットワーク装置がリモート装置に代わって所定の宛先に送信することができる。上記所定の宛先に送信する割り当て情報を会社や学校、外出先等の遠隔地から（ネットワーク機能により）取得して当該割り当て情報中のIPアドレスを把握することが可能となる。したがって、上記したりモート装置による割り当て情報の生成・送信の場合と同様に、割り当て情報中のIPアドレスに従い、SNMPやTelnet等のプロトコルを用いて、インターネット網を経由して遠隔地から上記リモート装置を制御することが可能となる。

【0018】また本発明は、サーバと各クライアントとが第1のネットワークを介してデータを送受信し、サーバと各リモート装置とが第2のネットワークを介してデータを送受信する通信システムにおいて、上記リモート装置には、当該リモート装置に割り当てられたIPアドレスを含む割り当て情報を上記サーバに送信する割り当て情報生成・送信手段を持たせる一方、上記サーバは、上記第2のネットワークを介して上記リモート装置の割り当て情報を生成・送信手段から送信された当該リモート装置の割り当て情報を受信する割り当て情報受信手段と、この割り当て情報を受信する割り当て情報受信手段と、この割り当て情報を対応するクライアントにリモート装置の割り当て情報を対応するクライアントに送信する割り当て情報を対応するクライアントとしたことを特徴とする。

【0019】このようなリモート装置とサーバとを備えた通信システムとともに、会社や学校、外出先にあるクライアントが上記サーバを経由して、遠隔地から上記リモート装置のIPアドレスを把握することができる。この構成は、特に外出先にあるクライアントがリモート装置のIPアドレスを知りたい場合に適している。

【0020】また、上記リモート装置、またはネットワーク装置に設けられた割り当て情報生成・送信手段の生成する割り当て情報を形式を電子メール形式とし、つまり電子メール形式の割り当て情報を生成して予め設定した宛先（所定の宛先）に自動送信する構成とするならば、加入者は、プロバイダ（インターネット接続に供されるサーバ）に問い合わせする必要なく、会社や学校は勿論、外出先でも家庭にあるリモート装置のIPアドレスを知ることが可能となる。

【0021】ここで、上記割り当て情報には、リモート装置に割り当てられたIPアドレスの他に、当該リモート装置を識別するための識別子またはリモート装置名を含めるのがよい。また、（特定サーバから割り当てられた）IPアドレスのリース期間（使用期限）の情報を含めるならば、割り当て情報を基づいて、IPアドレスだけなく、そのIPアドレスの有効期間を遠隔地から知ることができるため、その有效期間内に当該IPアドレスを用いて上記リモート装置を確実に通過制御することが可能となる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態につき図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施形態に係る通信システムの全体構成を示すブロック図である。

【0023】図1の通信システムは、インターネット網1にネットワーク装置NE1、NE2、NE3を分けて接続されるリモート装置12と、このリモート装置12を始めとする複数のリモート装置にローカル通信網14を介して動的にIPアドレスを割り当てる専用のサーバ20ととしてのDHCPサーバ13を構成する。

【0024】リモート装置12は、例えは家庭内に設置されるパソコン（PC）等のネットワーク装置や周辺装置、或いはネットワーク機能を持つ家庭装置である。

【0025】ネットワーク装置NE1は、リモート装置12をローカル通信網14に接続する。ローカル通信網14は、LAN（ローカルエリアネットワーク）またはCATV網である。ローカル通信網14がLANの場合、ネットワーク装置NE1は、例えは10BASE-Tのハブまたはリピータである。一方、ローカル通信網14がCATV網の場合、ネットワーク装置NE1は、例えはケーブルモデムである。

【0026】ネットワーク装置NE2は、ローカル通信網14との接続装置である。ネットワーク装置NE2は、ローカル通信網14がLANの場合、当該LANとの接続を司るルータまたはブリッジである。一方、ローカル通信網14がCATV網の場合には、ネットワーク装置NE2は当該CATV網の终端装置（CATVヘッダエンジン）である。

【0027】ネットワーク装置NE3は、インターネット網1と接続するためのゲートウェイ（もしくは接続）を司るルータである。ネットワーク装置NE3はネットワーク装置NE2とも接続される。

【0028】ネットワーク装置NE2及びNE3には、上記DHCPサーバ13の他に、所定のサーバ15が接続されている。このサーバ15は、加入者のメールを送受信するメールサーバ、加入者のホームページを公開するWWW（Web）サーバ、またはファイルサーバ等に代表されるアプリケーションサーバである。

【0029】インターネット網1には、ネットワーク

50

些装置NE4を介してパーソナルコンピュータ等のネットワーク機器を持つ機器（送信機末）16が接続される。以降、当該機器16を便宜的にクライアント（クライアント機器）16と称して説明する。

【0030】次に、本発明に直接関係するリモート装置12を中心とする動作を、図2のシーケンスチャートを参照して説明する。同図に示すように、リモート装置12は、画面投入後、IPアドレスの割り当てを要求するDHCPサーバー13の存在を確認するため、DHCP Discover（ディスカバリー）メッセージを（ブロードキャストで）送信する。

【0031】その後、DHCP Discoverメッセージに対する応答であるDHCPOffer（オファー）メッセージがDHCPサーバー13から（ブロードキャストで）返されると、リモート装置12は当該DHCPOfferメッセージを受信する。

【0032】リモート装置12はDHCPサーバー13からのDHCPOfferメッセージによってDHCPサーバー13の存在を確認すると、IPアドレスの割り当てを要求するDHCP Request（リクエスト）メッセージを（ブロードキャストで）送信する。

【0033】そして、このDHCP Requestに対する応答である、IPアドレスを割り当てるためのDHCP Response（レスポンス）メッセージがDHCPサーバー13から（ブロードキャストで）送されると、リモート装置12は当該DHCP Responseを受信する。リモート装置12は、このDHCPサーバー13からのDHCP Responseにより、当該DHCPサーバー13から割り当てられたIPアドレスを獲得する。

【0034】リモート装置12は、IPアドレスを獲得すると、自己ネットワークインターフェースのIPアドレスを設定する。以後、リモート装置12は獲得したIPアドレスを用いて通信を行うことが可能となる。

【0035】さて、リモート装置12は、DHCPサーバー13から割り当てられたIPアドレスを獲得すると、当該IPアドレスを含む割り当て情報（IP割り当て情報）を生成し、予め設定されている宛先、つまり所定の宛先に送信する。ここでは、上記宛先はネットワーク装置NE4を介してインターネット網11に接続される所定のクライアント（クライアント機器）16であるものとする。

【0036】これによりパーソナルコンピュータ等のクライアント16は、リモート装置12から送信されたIP割り当て情報を当該リモート装置12に割り当てられた最新のIPアドレスを知ることができる。そこでクライアント16は、ローカル通信網14にネットワーク装置NE4を介して接続されているリモート装置12を、当該IPアドレスを用いたSNMPやTelnet等のプロトコルによりインターネット網11を介して直

接地から制御することができる。

【0037】なお、リモート装置12により生成・送信される割り当て情報は、当該リモート装置12を識別するための識別子またはリモート装置名と、当該リモート装置12に割り当てられたIPアドレスとのペアとしてよい。更に、このペアに加えて、DHCPサーバー13から割り当てられたIPアドレスのリース期間（使用期間）の情報を含むてもよい。

【0038】この他に、上記割り当て情報を電子メール形式で生成し、電子メールを使って所定の宛先に送信するようしてもよい。同様に、予め定められている例えはファイリサーバに対し、TFTP（Trivial File Transfer Protocol）やFTP（File Transfer Protocol）等のプロトコルを使って送信してよい。また、IPアドレスの使用期間に達したために、それまで割り当てられていた当該IPアドレスの使用許可をDHCP Requestメッセージにより要求して、IPアドレスを更新した際にも、上記のIPアドレスの獲得時と同様に、リモート装置12から所定の宛先に上述した割り当て情報を送信するようにしてよい。

【0039】【第1の变形例】以上の実施形態では、リモート装置12に割り当てられたIPアドレスを含む割り当て情報（IP割り当て情報）を当該リモート装置12自身が生成して所定の宛先（例えばクライアント16）に送信するものとしたが、これに限るものではない。

【0040】例えば、ネットワーク装置NE1またはNE2が、リモート装置12に割り当てられたIPアドレスに割り当てる情報を、当該リモート装置12に代わって生成して、図3または図4に示すように所定の宛先（例えばクライアント16）に送信するようにしても構わない。このIPアドレスに関する情報は、リモート装置12とDHCPサーバー13との間でローカル通信網14を介してブロードキャストで行われることから、当該ローカル通信網14に接続されるネットワーク装置NE1またはNE2でも抽出することができる。よって、ネットワーク装置NE1またはNE2に、IP割り当て情報の生成・送信機能を持たせることは可能である。この場合、リモート装置12が、IP割り当て情報を生成・送信機能を必要としないことは勿論である。

【0041】【第2の变形例】また以上の実施形態では、IP割り当て情報の送信先がクライアント（通信機器）16である場合について説明したが、これに限るものではない。

【0042】例えば図5に示すように、リモート装置12からのIP割り当て情報の送信先（所定の宛先）を、加入者が会社や学校、外出先からアクセスできるようなサーバー15に設定して、当該サーバー15に割り当て情報を送信するようにしてよい。この場合、サーバー15は、リモート装置12から送られた上記割り当て情報を

(6)

特許 2001-189740

10

9

受信して内部に保存し、例えば会社や学校、外出先にあら クライアント 16からの要求により、当該割り当て情報をクライアント 16に送信することができる。これにより、会社や学校、外出先等のいずれの場所からでも、家庭等に設置されているリモート装置 12のIPアドレスを知ることができる。ここで、ネットワーク装置NE 1またはNE 2が、リモート装置 12に代わってIP割り当て情報を生成して、サーバ 15に送信・受信するよう にしても構わない。

【0043】このように、サーバ 15にIP割り当て情報を設定した場合、当該サーバ 15がメールサーバであればPOP (Post Office Protocol)により、Web (WWW) サーバであればHTTP (Hyper Text Transfer Protocol)により、ファイルサーバであればFTPまたはFTPDのプロトコルにより、上記割り当て情報を読み込むことができる。

【0044】かくして、ケーブルシステムのよう、家庭等のローカルなネットワークに接続されるネットワーク機器や周辺装置、ネットワーク機能をもった電気装置 (に代換されるリモート装置 12) にDHCPサーバ 15によりIPアドレスを割り当てる場合であっても、会社や学校、外出先にあるクライアント 16から当該IPアドレスを正しく知ることができ、遠隔地からSNMPやTelnet等のプロトコルを使って制御でき るようになる。

【0045】

【発明の効果】以上詳述したように本発明によれば、家庭等のローカルなネットワークに接続される燃焼や周辺装置に代換されるリモート装置をインターネット網やCATV網等の通信ネットワークを利用して遠隔地から制御可能となる。

* 卸するに必要な、当該リモート装置に動的に割り当てられるIPアドレスを含む割り当て情報を、当該リモート装置自身、またはネットワーク装置が生成して所定の元先に送信するようにしたので、リモート装置のIPアドレスを遠隔地から確実に把握することができる。よって、このIPアドレスを用いて、上記リモート装置を遠隔地からインターネット網を介して制御することができる。

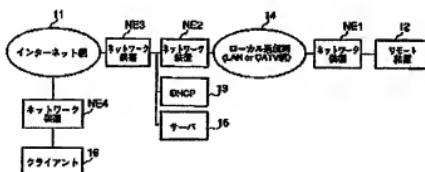
【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の一実施形態に係る通信システムの全体構成を示すプロック図。
- 【図2】同実施形態におけるリモート装置 12を中心とする動作を説明するためのシーケンスチャート。
- 【図3】同実施形態の变形例である、ネットワーク装置NE 1を中心とする動作を説明するためのシーケンスチャート。
- 【図4】同実施形態の变形例である、ネットワーク装置NE 2を中心とする動作を説明するためのシーケンスチャート。
- 【図5】同実施形態の变形例である、サーバ 15を中心とする動作を説明するためのシステム状態図。
- 【図6】ケーブルシステムの一般的な構成例を示す図。

【符号の説明】

- 1 1…インターネット網
- 1 2…リモート装置
- 1 3…DHCPサーバ (特定サーバ)
- 1 4…ローカル通信網 (LAN or CATV)
- 1 5…サーバ
- 1 6…クライアント

【図1】



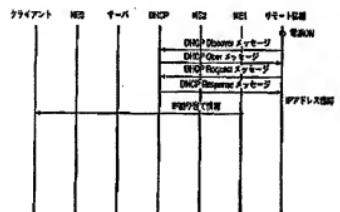
(7)

特開2001-189740

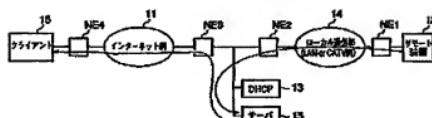
【図2】



【図3】



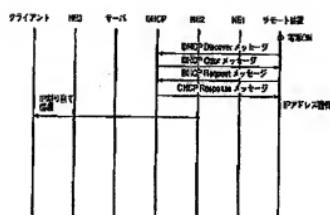
【図6】



(8)

特許2001-189740

[図4]



[図6]

